

広野で見つける暮らしのカタチ

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」



お知らせ 「子育てするなら広野町 移住体験ツアー」開催します。

広野町では、町の生活環境、子育て環境及び地域の魅力について理解を深めていただくことを目的に、移住体験ツアーを実施いたします。本ツアーは首都圏の子育て世帯を対象としており、プログラムには町民や先輩移住者にも参加いただき、参加者を温かく迎えながら交流を図ることで、広野町での実際の暮らしぶりを直接お伝えする内容となっています。

これまでに本ツアーをきっかけとして、2組の参加者が広野町への移住を決められました。

開催日時 令和8年3月14日（土）～15日（日）

訪問先 〈1日目〉

ニッ沼総合公園・トロピカルフルーツミュージアム・教育の丘・広野町役場・ひろのてらす・多世代交流スペースぐらっとあっと・大滝旅館

〈2日目〉

広野町海岸線・Jヴィレッジ・お試し住宅・広野町文化交流施設ひろの未来館

参加費 5,000円



トロピカルフルーツミュージアム



広野町役場庁舎内

地域おこし
協力隊

ひろの日記



こんにちは!広野町地域おこし協力隊の石田祥子です。
2月は、広野町内の求人情報を集めました!工業団地に進出している企業を訪問して、どんな仕事があるのか、どんな人が働いているのかを聞きました。集めた情報は、広野町へ移住を考えている人に、町内企業や求人を紹介することに使っていきます。

私は企業訪問をするまで町内企業に詳しくなかったのですが、電子基板や生コンクリート、接着剤製造、土木建築、石炭灰再利用など広野町にはたくさん大切な企業が集まっていると知り、とても勉強になりました!

今後も町内各所を訪問し、情報を集め、発信していきたいです!



企業へ訪問している様子

問 広野暮らし相談窓口「りんくひろの」 ☎0240-27-1251

関西地方から「ホープツーリズム」で来訪

1月18日(日)、福島第一原子力発電所内視察をメインとしたホープツーリズム企画で、関西地方から16名の方がトロピカルフルーツミュージアムを訪れました。

福島の復興状況や農業の復興状況を視察したいということで、バナナの栽培ハウスなどを見学していただきました。見学者の年齢は20代~70代まで様々で、広野町産バナナ「綺麗」の説明や地中熱エネルギーの説明などを真剣に聞いていました。特にハウスの中で栽培されているバナナを実際に見た時は、その大きさに驚き、スマホで写真を撮るなど盛り上がっていました。



バナナに興味津々な見学者の皆さん

昭和薬科大学附属高校の生徒たちが見学に訪れました



地中熱の説明を真剣に聞く生徒たち

1月20日(火)、沖縄県浦添市にある昭和薬科大学附属高校の生徒たちが、修学旅行でトロピカルフルーツミュージアムを訪れました。

沖縄から訪れた生徒たちは福島の冬の寒さに驚きつつ、震災からの福島の復興状況について学習していきました。生徒たちはバナナハウスで使用している地中熱エネルギーの説明などを真剣に聞いていました。沖縄では冬でも暖房のエアコンを使わないそうで、気候や風土の違いも含めて貴重な経験だったと話をしていました。

遠方より見学に来ていただきありがとうございました。

「どうしても福島が好きだ」に出店しました

1月25日(日)、AKB48の「どうしても福島が好きだ」イベント、品川で開催された「品川発あなたのココロ行き」に出店しました。

このイベントには、昨年3月9日の秋葉原、9月21日の白河に続いて、3回目の出店でした。当日は、以前に二ツ沼総合公園に遊びに来ていただいた、水島美結さん(みずみん)と平田侑希さん(YUKI)の写真やサイン入りパークゴルフクラブを展示して広野町をPRしました。イベントは大盛況で、水島さんと平田さんの効果もあり、広野町の商品は全て完売しました。たくさんのご来場ありがとうございました。



公式サイト



公式インスタ